

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

別冊資料 1-1

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
1	2007/03/22	女性	10歳未満	18mg	エチルコハク酸エリスロマイシン d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	心肺停止	死亡	インフルエンザ陽性。リン酸オセルタミビル18mg1回内服。夜間、「呼吸苦しそう」との連絡あった後、呼吸停止となり来院。挿管し、人工呼吸するも回復せず。救急車にて他院に搬送するも死亡が確認された。 (3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.117と同じ)	B-06025952
2	2007/03/22	男性	50歳代	150mg		腎不全	不明	略	B-06025970
3	2007/03/23	男性	10歳代	75mg		異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断。突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間けいれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。	B-06026126
4	2007/03/23	女性	60歳代	150mg		意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。	B-06026127
5	2007/03/23	男性	10歳代	75mg		幻覚 妄想 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療の為、本剤の投与開始。幻覚、妄想、異常行動発現。	B-06026128
6	2007/03/23	男性	30歳代	不明	アセトアミノフェン	紅斑性皮疹	未回復	略	B-06026129
7	2007/03/23	男性	10歳代	50mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切つて、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。	B-06026130
8	2007/03/23	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用。10時間後、5分くらい変なことを喋った。	B-06026131

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
9	2007/03/23	男性	10歳代	150mg	リン酸コデイン(1%以下)	筋痛		略	B-06026177
10	2007/03/23	男性	10歳代	150mg		視覚障害	回復	略	B-06026178
11	2007/03/23	女性	40歳代	150mg		腸管虚血	未回復	略	B-06026180
12	2007/03/23	女性	30歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 幻聴	軽快 軽快 軽快	インフルエンザB型のため、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。39℃台発熱時、本剤内服後、幻覚、幻聴、異常行動発現。	B-06026181
13	2007/03/26	女性	10歳代	150mg	塩酸セフカペンピボキシル ピロミド酸	発疹	不明	インフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。夜になり徘徊・手の震えが15分続き、その後眠った。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。	B-06026296
14	2007/03/27	男性	10歳代	不明	ジクロフェナクナトリウム レボプロキサシン	肝機能異常	軽快	略	B-06026419
15	2007/03/27	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	1回目服用約3時間後、異常な発言あり。2回目服用4時間後、数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。	B-06026420
16	2007/03/27	男性	10歳代	75mg	プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気づき、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。	B-06026444

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
17	2007/03/28	女性	10歳未満	75mg		意識レベルの低下 大発作痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg内服10分後、嘔吐し、その後焦点合わず氷をいじったり、靴下をいじったりして呼びかけに答えなくなり、眼球上点、全身強直間代性けいれんとなった。けいれんが止まった後も、呼びかけに応えずに四肢を動かす意識障害が持続し、当院搬送。3時間後には意識清明になった。	B-06026529
18	2007/03/28	男性	10歳代	150mg		錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。	B-06026540
19	2007/03/28	男性	10歳未満	72mg		口唇浮腫	軽快	略	B-06026602
20	2007/03/28	女性	10歳代	75mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロメタジン トラネキサム酸	意識消失	回復	体に力が入らず脱力状態。母が階段の上方から両腕をかかえ、家族が階段の下方から両足を持って運んでいた。開眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、家族は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院した。本人は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。	B-06026622
21	2007/03/28	男性	10歳未満	27mg		幻覚	回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル27mg内服。遠くを見つめ、おぼけが出る等の症状を訴えたため、本剤中止。	B-06026623
22	2007/03/28	男性	60歳代	75mg	センソシド ベシル酸アムロジピン 酸化マグネシウム ゾピクロン	発疹	未回復	略	B-06026624
23	2007/03/28	女性	30歳代	150mg	スルピリン・アミノプロピロン配合剤 塩酸リンコマイシン	健忘	回復	服用2日後、一過性の健忘 夜目が覚めて気がついたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。	B-06026629

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
24	2007/03/28	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。 (3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.118に同じ)	B-06026630
25	2007/03/29	女性	30歳代	150mg	炭酸リチウム バルプロ酸ナトリウム	毒物誘発脳症	軽快 軽快	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が出現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。	B-06026663
26	2007/03/29	女性	30歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	発作性頻脈	軽快	略	B-06026693
27	2007/03/29	男性	40歳代	150mg	レバミピド セラペプターゼ ヒベンズ酸チペピジン 塩酸エピナスチン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。	B-06026707
28	2007/03/30	女性	40歳代	150mg		痙攣	軽快	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害、痙攣発現。意識障害で倒れ、顔を打った。本剤投与中止。	B-06026807
29	2007/03/30	女性	10歳未満	不明		異常行動	軽快	服用後5時間、異常言動発現。再来院し、入院。脳波及びCT検査での異常はなし。	B-06026808
30	2007/03/30	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	肝機能異常	軽快	略	B-06026809
31	2007/03/30	男性	10歳未満	60mg	臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン	異常行動 痙攣	回復 軽快	インフルエンザA確定。服用30分後に奇声を発するも押さえつけ入眠。けいれん発現。入院目的に搬送時、意識クリアになる。	B-06026846

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
32	2007/03/30	男性	40歳代	150mg		自殺企図	未回復	処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。	B-06026847
33	2007/03/30	女性	10歳代	150mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	自殺企図	未回復	インフルエンザBと診断。朝本剤75mg1回服用し、その後本剤の服用はしていない。朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが屋頂2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。 (3月21日以降の医療機関報告のNo.12に同じ)	B-06026848
34	2007/03/30	女性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザの診断なし。リン酸オセルタミビル60mg1回服用。布団を蹴飛ばし「怖い」と叫び、視点が定まらず、母がかまえていた。インフルエンザ迅速検査陰性、咽頭粘液、血液でのインフルエンザウイルス同定(PCR)陰性。	B-06026849
35	2007/04/02	男性	10歳未満	不明		痙攣	軽快	インフルエンザ検査は陰性であったが、リン酸オセルタミビルを処方。 痙攣が起きたため、入院。	B-07000002
36	2007/04/02	男性	10歳未満	不明		幻覚	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用後、幻覚発現。	B-07000056
37	2007/04/02	男性	10歳未満	30mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用30分後、母親が目を離した間に道路を全速力で走っており、家につれて帰った後はベランダの柵を越えようとしていた。 翌日、異常行動回復。	B-07000057
38	2007/04/02	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。	B-07000058
39	2007/04/02	男性	10歳代	150mg	セフトラムピボキシル 臭化チキジウム ピフィズス菌製剤 メクロプラミド プロメライン・結晶トリプシン アセトアミノフェン フェンジゾ酸クロペラスチン	斜頸	回復	39.3℃の発熱。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。 服用2日目の朝、フェンジゾ酸クロペラスチン処方。同日夕方に頸が外れたような感じで首が右に傾斜のまま。目は左右に動いており一定していない。首の筋肉のはりがなし。痛みを訴える。同日夜、入院し、本剤服用中止。翌朝、解熱して退院。主訴も回復。	B-07000059

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
40	2007/04/02	女性	20歳代	150mg	プラノプロフェン ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配合剤	痙攣	回復	A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用開始。 3回目の服用4時間半後、痙攣が発現。翌日、回復。	B-07000060
41	2007/04/02	男性	60歳代	150mg		発疹 血便排泄	回復 回復	略	B-07000061
42	2007/04/03	男性	30歳代	150mg	麻黄湯	突然死	死亡	38°Cの発熱あり。インフルエンザAの診断のため、リン酸オセルタミビルを処方。普通に会話し、普通に歩いて寝た。深夜、家族が様子を見に行ったらところ呼吸をしていないのに気付く。救急車を呼んだ。救急隊が到着した時には心肺停止状態。心肺蘇生を行うも改善せず、死亡が確認された。死体解剖の結果、脳、胸部、腹部臓器に心肺停止をきたすような明らかな所見なし。薬剤の可能性のみが残っている。	B-07000062
43	2007/04/02	男性	10歳代	150mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。	B-07000063
44	2007/04/02	男性	10歳代	75mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	意識消失	軽快	インフルエンザ治療のため、本剤服用。1時間後、意識レベル低下。両親の呼びかけに応じないため、救急者にて他院に搬送。その後、自然回復。	B-07000064
45	2007/04/02	女性	10歳代	75mg	臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱39°C、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がって、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。	B-07000065

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
46	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	クラリスロマイシン プラシルカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38～39℃台の発熱が続いていた。夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5～10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思えずには連絡しなかった。本剤服用中止。	B-07000066
47	2007/04/02	女性	10歳未満	27mg		痙攣	軽快	リン酸オセルタミビル27mg服用後、暫くして痙攣。2回目から服用中止。翌日、痙攣軽快。	B-07000067
48	2007/04/02	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	意識消失 痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg服用。約4時間後、母親が心配でトイレに付き添った所、突然意識消失し、痙攣を起こした。声をかけたところ、5秒後に回復した。しかしその後の返答もおかしくトイレに行こうとしたのにも関わらず、ご飯を食べにリビングに行こうとしたと、トンチンカンな事を言った。	B-07000068
49	2007/04/02	女性	小児	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 しゃべりまわっていた。	B-07000074
50	2007/04/02	女性	10歳未満	90mg		幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後に幻覚発現。服用5日目、幻覚は回復。	B-07000075
51	2007/04/02	男性	50歳代	150mg	アセトアミノフェン ジアゼパム	異常行動 譫妄	不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。 高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとし看護師に制止されるが暴れまくる。 後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたところ当時の記憶はなかった。 服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。	B-07000076

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
52	2007/04/02	男性	小児	150mg	フェンゾ酸クロペラスチン 塩酸アンブロキシール イブプロフェン	異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 深夜、突然起きだし、外に出る。父が呼び止めるも止まらず。	B-07000077
53	2007/04/02	男性	10歳代	150mg	フマル酸エメダスチン カルボシステイン 塩酸エブラジノン	異常行動 幻覚	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、幻覚発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。 翌朝、服用後、トイレで母親が死んだというようなことを大声で叫び、頭をうち倒れたとこのこと。 翌々日、熱が引かないためセフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。	B-07000078
54	2007/04/02	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用。服用5時間半後、39.3℃の高熱のため、アセトアミノフェン服用。 服用6時間半後、トイレの便器周辺に排尿。目がとろんとした状態で、にこにこしながら学校の話を上舌となり、異常行動発現。 父親に叱られるも、通常の意識には戻らず、その後すぐに入眠した。その時の記憶はないようであった。 服用7時間半後、37.3℃となり、その後、覚醒し、この時点で意識は正常に回復。熱が38℃であったため、アセトアミノフェン服用。翌日、本剤中止。	B-07000079
55	2007/04/02	女性	50歳代	150mg		出血性腸炎	回復	略	B-07000085
56	2007/04/02	女性	10歳未満	120mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさけび部屋を走り回るためおさえる。5～6分続く。翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5～6分続く。 その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。	B-07000086

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
57	2007/04/02	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。	B-07000087
58	2007/04/02	女性	10歳代	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 硫酸サルブタモール	異常行動	軽快	インフルエンザウイルス感染症治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。30分後、救急車で運ばれて来たが、その際は意識は回復していた。異常行動軽快。	B-07000088
59	2007/04/02	男性	20歳代	不明		意識消失	回復	インフルエンザ様症状を発症。発症6日後、友人からもらったリン酸オセルタミビル服用開始。翌日、車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり、当院のICUに入院。意識レベルバイタルは正常だが、ハンドルを腹部にぶつけ、肝臓の損傷の疑いあり。アンギオ実施。同日、意識消失は回復。	B-07000089
60	2007/04/02	女性	10歳未満	不明	塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール 塩酸アンブロキシール	異常行動 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。 同日、「何か気分がいい」との異常言動が発現し、翌日回復するが、服用4日目まで、「何者かに追われている」との異常言動が発現。 服用4日目、本剤服用中止。中止翌日、異常言動回復。	B-07000090
61	2007/04/02	女性	40歳代	不明	アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(ソルビトール加) チアミンジスルフィド・B6・B12配合剤 アスコルビン酸	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加 アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	回復 回復	略	B-07000091

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
62	2007/04/02	男性	40歳代	75mg	ペラプロストナトリウム 塩酸セベラマー メチルドパ ベシル酸アムロジピン バルサルタン アルファカルシドール ポリスチレンスルホン酸カルシウム 沈降炭酸カルシウム クロナゼパム メコバラミン センソシド	異常行動	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。 透析患者のため、本剤75mgを1回のみ投与する予定が、 誤って1日1回を5日間投与してしまった。5日間服用後、夜間 透析を受けており、睡眠中だったが、急に起きて透析の針を 自分で抜いてまた刺したという異常行動(自己抜刺)をおこし た。同日症状回復。	B-07000092
63	2007/04/02	男性	10歳未満	75mg		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が 発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。 翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。	B-07000097
64	2007/04/02	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患者との接触があり、また化学療養中 で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセル タミビル投与開始。 敗血症発症。服用から3日目、髄膜脳炎を発症(細菌陽性)。	B-07000098
65	2007/04/02	男性	10歳未満	150mg		幻覚 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル服用開 始。 幻覚、行動の異常発現し、同日回復。	B-07000100
66	2007/04/02	男性	10歳未満	72mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン セフォタキシムナトリウム ジアゼパム	痙攣 意識レベル の低下	不明 回復	深夜、発熱。翌朝、インフルエンザA型と診断され、リン酸オ セルタミビル服用開始。 本剤3回目服用後、けいれん(1分くらい)発現し、入院。丸1日 意識レベル低下。けいれん、意識レベル低下(ともに非重篤) 発現。 翌日、熱が下がる。翌々日、本剤服用中止。服用中止1日 後、ふらつき、頭痛あり。(意識レベルは正常)MRI異常なし。 幻覚、四角い錠、ふらつき、傾眠発現。服用中止2日目、「あ そこに何かいるから痛い」と言う異常行動発現。	B-07000101

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
67	2007/04/02	不明	10歳代	不明	アセトアミノフェン	浮動性めまい 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。服用3時間後、言動がおかしくなり、階段より転落し、上肢痙攣がみられた。救急車で受診するも、意識レベル回復し、画像上も異常所見なし。	B-07000102
68	2007/04/02	女性	20歳代	150mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 塩酸アンブロキシール ロキソプロフェンナトリウム テオフィリン ツロブテロール フマル酸クレマスチン マレイン酸イルソグラジン ファモチジン ピオチアスターゼ2000配合剤(19) 塩酸シプロフロキサシン 塩酸テトラサイクリン スルピリン ケトプロフェン	心肺停止	死亡	咳、咽頭痛、鼻汁、38.2°Cの発熱あり。インフルエンザB型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。同日夜から嘔気が発現。服用2日目、立ちくらみのような症状あり、食べられず、薬も飲めず。服用3日目、血圧:110/68、体温:38.0°C。点滴治療を行い症状軽快。食事摂れた。数時間後、嘔気軽快。服用4日目も同様に、嘔吐発現し、点滴にて軽快。服用5日目、朝、救急車に搬送中に心肺停止。蘇生行方もなくなったとのこと。	B-07000103
69	2007/04/02	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。翌未明、けいれん(全身性)発症。	B-07000104
70	2007/04/02	女性	20歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	夕食後、リン酸オセルタミビル服用開始。翌未明、トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。現在、顔の傷の治療のため通院中。	B-07000105
71	2007/04/02	男性	10歳未満	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39~40°C台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。	B-07000106
72	2007/04/02	女性	10歳代	130mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、言動(家電をなぐった)発現。服用3日後、異常行動、言動回復。	B-07000107

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
73	2007/04/02	女性	10歳代	75mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。 本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。 服用7時間後、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。	B-07000108
74	2007/04/02	男性	10歳未満	120mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用当日夜、意識障害(重篤)、痙攣が発現。翌日、意識障害回復。	B-07000110
75	2007/04/02	男性	10歳代	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温;38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。 服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。	B-07000111
76	2007/04/02	男性	90歳代	75mg	アセトアミノフェン	白血球数減少	不明	略	B-07000112
77	2007/04/02	男性	小児	75mg		痙攣	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。自宅でうずくまっているのをおこしたときに痙攣があり、救急搬送される。熱はなく、意識もあり、身体レベルも異常なし。脳圧も正常。当日、痙攣軽快。	B-07000113
78	2007/04/03	男性	30歳代	150mg		急性肝炎	軽快	略	B-07000118
79	2007/04/03	女性	90歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38.5℃、咽頭痛、倦怠感。インフルエンザA型と診断。服用3日目、夜、点滴抜針し、枕を投げ、ふとんをおしやり下に落とし、突然暴れた。服用4日目、朝、家人にトイレ介助を訴え、家人介助する。この時点で落ちついた様子であった。服用5日目、本剤投与終了、落ち着いてきたため退院。	B-07000119
80	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		幻覚 異常行動	不明 不明	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル2回内服。幻覚症状があり、暴れたりした。	B-07000120